

行ってみよう!

忠次公ゆかりの スポット!!

2



▶ ウッドチップが敷かれ整備された散策路

毎年11月、忠次公の功績を称えるため、散策路案内や発掘調査の現場公開、戦国ワークショップや芋ほり体験などを行う、「忠次公レキシまつり」が開催されています。

その会場として使用されている、忠次公が陣屋を構えた埼玉県指定記念物（史跡）「伊奈氏屋敷跡」にある「頭殿権現社」「二の丸跡」、近年整備した「散策路」をご紹介します。

特集

伊奈備前守忠次

ただつく



- …道路
- …散策路
- …土塁

1



頭殿権現社

3



▶ 町指定記念物 (天然記念物) シラカシ

4

二の丸跡

▶ ウラシマソウ
絶滅の危機にある貴重な植物です。5月ごろに開花します。



4

●二の丸跡 ▶ 丸山駅から徒歩約15分 ●裏門跡 ▶ 丸山駅から徒歩約5分 ●頭殿権現社 ▶ 丸山駅から徒歩約10分



月刊『江戸楽』で 伊奈忠次が特集されます ～ 江戸・関東を拓いた仕事人～

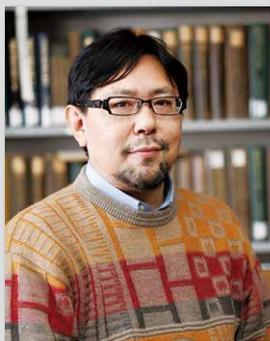
伊奈町の町名の由来となり、多大な功績を残した伊奈忠次ですが、その知名度はまだまだ高いとはいえません。

町では、地域の方や関係団体等と連携し、さまざまな取組を実施してきました。

今回、多様な角度から多くの歴史上の人物に焦点を当てる特集の制作実績がある、月刊『江戸楽』2月号（1月20日発売／イー・アール・ティ株式会社／税込680円）で伊奈忠次が特集されます。

特集にあたり、作家の沖方丁さん、歴史学者の本郷和人さんに取材をさせていただきました。お二人が伊奈忠次をどのような視点から捉えているのか、ぜひお楽しみください。

なお、誌面の編集にあたっては、町も協力しました。



ほんごろうかずと
本郷和人氏



うぶかたとう
沖方丁氏

障子堀の発掘調査を行っています

昭和59・60年の発掘調査により、裏門跡から「障子堀」が見つかっています。障子堀とは、形が障子のように見える堀で、堀の中に障壁が掘り残されていることから、敵兵の侵入を妨害する役割があったとされています。町では、令和元年度から継続して調査を行っています。



皇帝ダリア

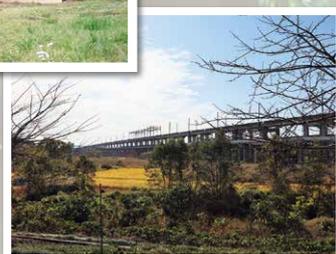
11月～12月ごろ、このエリアのどこかに咲いています。探してみましょう。



1



▶ 頭殿権現社



▶ 頭殿権現社から見える風景